

柏市役所 こども部 保育課

- 1 検査機関 : 一般財団法人 千葉県環境財団
- 2 検査方法 : (1) ゲルマニウム半導体検出器による γ 線スペクトロメトリーによる核種分析
(2) 保育園給食で実際に提供した1～2歳児1食を6日分ごとに検査
- 3 採取期間 : 平成 26 年 1 月 20 日 ～ 平成 26 年 1 月 25 日
- 4 検査日 : 平成 26 年 1 月 28 日
- 5 その他 : (1) 検出下限値とはこの検査機器で算出することが出来る最小の値であり、検査環境、検体の状態等によって一定ではありません。
(2) 算出に当たっては、経口摂取による実効線量係数(mSv/Bq)、保育園は1～6歳(幼児)の係数(厚生労働省医薬局食品保健部監視安全課・緊急時における食品の放射能測定マニュアルより引用)を使用しました。
(3) 預託実効線量とは、20歳以下の子どもは70歳になるまでに被ばくする線量、大人は内部被ばくしてから50年間に被ばくする線量です。

※ 1～2歳児の喫食量を計量し、総重量を計測した。

園No	園名	喫食総重量(kg)	測定結果(Bq/kg) (下段:検査下限値)			放射性セシウム内部被ばく 預託実効線量(mSv)
			ヨウ素131	セシウム134	セシウム137	
1	豊四季乳児保育園	3.630	不検出	不検出	不検出	0~0.000105
			1.05	1.31	1.24	
2	豊四季保育園	2.650	不検出	不検出	不検出	0~0.000071
			1.10	1.04	1.38	
3	富士見保育園	4.448	不検出	不検出	不検出	0~0.000111
			1.04	1.24	0.904	

計算式：「検出下限値(Bq/Kg)」×「実効線量係数(mSv/Bq)」×「実際の喫食総重量(Kg)」
＝放射性セシウム内部被ばく預託実効線量(mSv) となる

(例)セシウム134の検出下限値が1.31 セシウム137の検出下限値が1.24給食の総重量3.630kgの場合

1.31	×	0.000013	×	3.630	+	1.24	×	0.0000097	×	3.630	=	0.000105
(Bq/Kg)		(mSv/Bq)		(Kg)		(Bq/Kg)		(mSv/Bq)		(Kg)		(mSv)

園No	セシウム134			+	セシウム137			=	放射性セシウム 内部被ばく 預託実効線量 (mSv)				
	検出下限値 (Bq/Kg)	×	実効線量係数 (mSv/Bq)		×	喫食総重量 (Kg)	検出下限値 (Bq/Kg)			×	実効線量係数 (mSv/Bq)	×	喫食総重量 (Kg)
1	1.31	×	0.000013	×	3.630	+	1.24	×	0.0000097	×	3.630	≒	0.000105
2	1.04	×	0.000013	×	2.650	+	1.38	×	0.0000097	×	2.650	≒	0.000071
3	1.24	×	0.000013	×	4.448	+	0.904	×	0.0000097	×	4.448	≒	0.000111